

1. 学校教育目標

「自立」「協働」「貢献」

たくましく・優しく・賢く 主体的に生きる朝日中生

自立 自ら行動

自分を理解し、受け入れる / 目標をもつ / 人と関わる

「自立」している姿とは、自分自身が「こうしたい」「こうなりたい」という目標をもち、自らの責任でその実現に向けて行動する姿、と考えます。

その第一歩として、自分自身を理解すること。そして「強み」も「弱み」も含めた自分が、目指す「目標」の実現のために必要な力などを整理し、その獲得に向けて行動することが大切です。

行動する際には、周りの人と関わり、自分の考えを発信する経験や、相手の意見を受け入れながら「自分を高めよう」という姿勢を大切にしましょう。

協働 目標の共有と実現

思いやりを大切にする / 自分の意見をもつ / 人をつなぐ

「協働」を、対話を通して目標を共有するとともに、その実現のために自分ができることを行動で表すこと、と考えます。

自分の思いを大切にするのと同じように相手の考えも尊重しながら、様々な場面において、全員が納得できる目標を確認しましょう。一人ひとりとは違うから、お互いの「得意」を活かし、「不得意」を支え合いながら、みんなで目指す目標の実現に取り組んでいきましょう

貢献 役割を果たす

自分ができることを考える / 感謝の気持ちをもつ / 喜びを見出す

「貢献」とは、「みんなのため」だけでなく、進んで自分ができることを考え、その役割を果たすこと、と考えます。

みんながお互いに「自分ができること」を考え、行動することで、みんなで決めた目標の実現を目指します。でも、「周りの人のため」は自分のためでもあります。みんなのために行動することで成長できる機会を得られたことに対し、感謝の気持ちを持ち、周りの人の支えになれたこと、そして自分が成長できたことを喜びたいと思います。

2. 学校教育目標実現に向けた具体的取り組み

「自立」 … 自ら行動 自分を理解し、受け入れる / 目標をもつ / 人と関わる

- ①「授業・家庭学習の充実により希望の進路を実現する」という方針の下、基礎・基本の定着、個に応じた指導を推進し、より確かな学力の向上を目指す。
- ②「教科の特性に触れる面白さ」、「わかる・できる・伸びる喜び」、「学び合いの楽しさ」を実感できる授業改善を推進し、生徒自身が主体的に学習に向かう意欲を醸成する。
- ③「特別の教科 道徳」を中核に、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を推進する。
- ④ねらいを明確にした取り組みの推進と「当事者意識」の醸成を意識した話し合い活動などの充実による主体性の涵養を図る。
- ⑤自己理解を深め、自分の課題改善や、強みを生かした挑戦を支援する。
- ⑥校外でも通用する力（社会の行動様式：挨拶・身だしなみ・言葉遣い・時間厳守等）を培うため、各学年に応じた学校内外の活動を通じて指導を重ねる。
- ⑦体育や部活動等、体育的行事で、個に応じた健康・体力の向上や挑戦心・克己心を培う。
- ⑧地域や生徒の実態等を踏まえ、学校保健委員会等の取り組みにより、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための指導の充実を図る。

「協働」 … 目標の共有と実現 思いやりを大切にする / 自分の意見をもつ / 人をつなぐ

- ①自他の生命・存在をかけがえのないものと認め、自他を尊重する心を育てる。
- ②仲間とともに向上しようとする集団の育成に努めるとともに、個々の生徒が所属感と自己有用感が得られる受容的集団づくり、支持的風土づくりに努める。
- ③朝日中の伝統、誇り、朝日中らしさを大切にしながら、「関わり合い」を重視した教育課程を編成する。
- ④他者の話を聞く構えづくりと自分の考えを自分の言葉で発表する場を設定し、表現力の向上を目指す。
- ⑤ねらいを明確にした「ともに考え、議論し、よりよいものをつくる」協働体験や、人の役に立つ体験活動場面を多く設ける。
- ⑥「一生懸命さ」が大切にされる学年集団の中での連帯感の醸成を図り、集団での磨き合いを通し、個々の能力伸長に努める。
- ⑦生徒会・学級活動の向上発展を目指して自発的・自治的な活動や「生徒同士の働きかけ」を支援するとともに、各取り組みのねらいの明確化と振り返りを効果的に実施し、次につなげるサイクルを確立する。

「貢献」 … 役割を果たす 自分ができることを考える / 感謝の気持ちをもつ / 喜びを見出す

- ①地域や社会教育との連携を密にし、地域行事等への参加を勧め、郷土を愛する心とともに他者と協働しようとする姿勢や「自分らしい生き方」を迫及する意欲を育む。
- ②地域とのかかわりの大切さと、中学生として「地域貢献」の在り方を意識する機会を設定する。
- ③地域への貢献を通し、持続可能な社会づくりに貢献しようとする意識を醸成する。
- ④地域関係団体が主催する、生徒が地域で活躍できる場面への参加を促す。

- ⑤授業や係・当番活動、奉仕・ボランティア活動等、教育活動全般における適時評価の実施により、思いやりの心を行動に表し、誰一人取り残さない、という意識の醸成に努める。
- ⑥他者のために自分にできることを考え、実行する経験を通して、自分自身が成長していることに気付かせる。

3. 学校経営の重点

(1)「地域」「保護者」「学校」が一体となって子供を育てる

- ①朝日地域学校運営協議会を核とした「地域とともにある学校」づくりを推進し、地元愛、地域貢献意識を育む。
- ②保護者間の連携強化のため、PTA活動や研修の充実を図る。
- ③あさひ小との連携を密にし、9年間を見通した朝日地域小中一貫教育を推進する。
- ④「中学卒業時に目指す姿」の実現、「中学卒業時に身に着けたい力」の獲得を目指し、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を互いに認識し、効果的に実行できるような連携を推進する。
- ⑤必要に応じて関係機関と連携し、生活安全・交通安全・不審者対応・雪害対策・鳥獣被害対策等を充実させ、災害予防に万全を期す。

(2)「朝日中全職員で」一人ひとりの成長支援

- ①各生徒の自立を目指す姿の実現に資する活動を支えるために生徒理解に努め、諸課題に対し組織的な対応を行う。
- ②支援を必要とする生徒について、本人、保護者のニーズをふまえ、社会的自立のために適切な支援ができるよう、関係機関等と連携を図る。
- ③生徒の自己有用感、自己肯定感を醸成することにより、何事にも主体的に取り組む姿が見られるよう、教育相談やアンケート等で把握した情報をふまえ、生徒の気持ちに寄り添った丁寧な指導を行うとともに、生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を意識した指導の充実を図る。
- ④生徒が安心して生活できるよう、互いを尊重し合う集団の形成を目指し、いじめ・不登校予防、心の健康づくりに取り組むとともに、不安を抱えた生徒の早期発見と不安の解消に努める。

4. 令和7年度の重点

自尊感情（自己有用感・自己肯定感・自信や誇り）を高める働きかけ

- ☐ 個々が活躍する役割の設定
- ☐ 生徒のよいところを意識化させる声かけ
- ☐ 失敗を次につなげる支援

(1)信頼関係の構築

- ①生徒の信頼 … 授業、学年経営等による絆づくり・居場所づくり
・生活、学習規律の向上 … 親身な関わり
- ②保護者の信頼 … 生徒の姿で信頼を得る
- ③地域の信頼 … 学校運営協議会による発信 学校行事等への参加の勧奨

※朝日中教職員として

- ・教科指導等の研鑽に励み、元気澆刺と勤務することができる経営を推進する。

- ・公務員としてのサービスの厳正と交通事故、交通違反等、事故の絶無を徹底する。
- ・組織マネジメントと教職員の自己マネジメントによる「働き方改革」を推進する。

(2)たくましさの醸成

多様な考え方や価値観に触れる取り組みの推進 … 朝日地域の内外の教育資源の活用

(3)地域の教育力を生かした取り組みの推進

- ①学校運営協議会を核とした「地域とともにある学校づくり」の推進
- ②あさひ小との連携による小中一貫の視点からの教育活動の充実
⇒「ふるさと 朝日」への愛着と貢献しようという意識の醸成